

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 4 区分

【発行日】令和 1 年 6 月 6 日 (2019.6.6)

【公開番号】特開 2019-35113 (P2019-35113A)

【公開日】平成 31 年 3 月 7 日 (2019.3.7)

【年通号数】公開・登録公報 2019-009

【出願番号】特願 2017-157124 (P2017-157124)

【国際特許分類】

C 2 2 B 23/00 (2006.01)

C 2 2 B 3/08 (2006.01)

【F I】

C 2 2 B 23/00 1 0 2

C 2 2 B 3/08

【手続補正書】

【提出日】平成 31 年 4 月 24 日 (2019.4.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

マグネシウムを含有するニッケル酸化鉱石のスラリー（鉱石スラリー）に対して硫酸を添加することによって浸出処理を施し、ニッケルを含む浸出液と浸出残渣とからなる浸出スラリーを得る浸出処理方法であって、

前記鉱石スラリー中のニッケル含有率に対するマグネシウム含有率の比（M g / N i 比）を算出する工程と、

得られる前記浸出スラリー中の遊離硫酸濃度が所定の濃度となるように浸出処理を施す工程と、を含み、

前記鉱石スラリー中の M g / N i 比を定期的にモニタリングし、該 M g / N i 比に応じて前記硫酸の添加量を調整しながら浸出処理を施す

浸出処理方法。

【請求項 2】

浸出処理終了時の前記浸出スラリー中の遊離硫酸濃度が 4 0 g / L ~ 5 0 g / L の範囲となるように、前記硫酸の添加量を調整する

請求項 1 に記載の浸出処理方法。

【請求項 3】

前記鉱石スラリー中の M g / N i 比が 1 . 8 より小さい場合には、浸出処理終了時の前記浸出スラリー中の遊離硫酸濃度が 5 0 g / L より小さくなるように、前記硫酸の添加量を調整する

請求項 2 に記載の浸出処理方法。

【請求項 4】

前記鉱石スラリー中のニッケル含有率が 1 . 0 質量 % ~ 2 . 0 質量 % の範囲である

請求項 1 乃至 3 のいずれかに記載の浸出処理方法。

【請求項 5】

ニッケル酸化鉱石から硫酸を用いてニッケルを含む有価金属を回収するニッケル酸化鉱石の湿式製錬方法であって、

前記ニッケル酸化鉱石のスラリー（鉱石スラリー）に対して硫酸を添加することによ

て浸出処理を施し、ニッケルを含む浸出液と浸出残渣とからなる浸出スラリーを得る浸出工程を含み、

前記浸出工程では、

前記鉱石スラリー中のニッケル含有率に対するマグネシウム含有率 (Mg / Ni 比) を算出する工程と、

得られる前記浸出スラリー中の遊離硫酸濃度が所定の濃度となるように浸出処理を施す工程と、を含み、

前記鉱石スラリー中の Mg / Ni 比を定期的にモニタリングし、該 Mg / Ni 比に応じて前記硫酸の添加量を調整しながら浸出処理を施す

ニッケル酸化鉱石の湿式製錬方法。